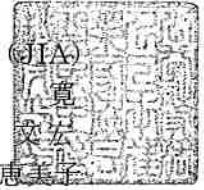




2013年10月23日

神奈川県知事 黒岩 祐治 様

公益社団法人 日本建築家協会 (JIA)  
関東甲信越支部支部長 上 浪 寛  
同保存問題委員会委員長 安達 文宏  
同神奈川地域会代表 青木 恵美子



## 神奈川県立近代美術館鎌倉館の建物の活用とその景観の保全に向けた要望書

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。  
貴県におかれましては日頃より文化の継承に理解を示されていることに敬意を表します。  
また、当会の活動に格別のご理解を賜り、深く感謝申し上げます。

当会では、平成22年12月に当時の松沢知事並びに藤井教育長宛に神奈川県立近代美術館鎌倉館についての保存要望書を提出させて頂いておりますが、土地の賃借契約期限も2年半後に迫るこの時期を迎え、改めてこの建物の活用と景観の保全を要望いたします。

建築関係者をはじめ一般市民の方々からも鎌倉館の建物の存続については注目されており、本年3月25日には神奈川新聞に「貴重な神奈川県立近代美術館鎌倉館の扱い」という記事が大きく掲載されました。貴県におかれましても多々ご思料のことと推察いたします。

鎌倉館の保存活用に対する、私ども日本建築家協会の想いは前回提出させて頂いた別紙の要望書に記した通りです。神奈川県立近代美術館の建設は当時の内山知事をはじめ多くの方々の文化興隆への強い意志により実現しました。20世紀を代表する建築家ル・コルビュジェに師事し、国内外の近代建築史に大きな足跡を残した坂倉準三の設計による鎌倉館は、時の経過の中で今や一つの風景となり、鶴岡八幡宮と共に多くの市民に愛されています。モダニズムの代表的建築物と歴史的な景観のこのような組合せ、佇まいは、国内では類を見ないものであり、歴史と文化の重層性という観点からもたいへん重要なものと言えます。

解決すべき課題もありますが、鎌倉館は、現在の技術をもってすれば将来にわたり維持活用が十分に可能であり、それを行う価値のある建築資産です。坂倉の代表作であり国際的にも評価が高い鎌倉館の建物の活用、歴史と文化が調和した魅力的な景観の保全、これらについて、特段のご配慮をもって取り組まれますよう、ここに改めて要望いたします。今後の方向性を含め、なにとぞご回答いただけますよう、貴県にお願いする次第です。

なお、公益社団法人 日本建築家協会関東甲信越支部、同保存問題委員会、同神奈川地域会は、神奈川県立近代美術館鎌倉館の建物の活用と景観の保全について、出来る限りの協力をさせて頂く所存であることを申し添えます。

敬具



2013年10月23日

神奈川県教育長 藤井 良一 様

公益社団法人 日本建築家協会 (JIA)  
関東甲信越支部支部長 上 浪 寛  
同 保存問題委員会委員長 安達 文宏  
同 神奈川地域会代表 青木 恵美子



## 神奈川県立近代美術館鎌倉館の建物の活用とその景観の保全に向けた要望書

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。  
貴県におかれましては日頃より文化の継承に理解を示されていることに敬意を表します。  
また、当会の活動に格別のご理解を賜り、深く感謝申し上げます。

当会では、平成22年12月に当時の松沢知事並びに藤井教育長宛に神奈川県立近代美術館鎌倉館についての保存要望書を提出させて頂いておりますが、土地の賃借契約期限も2年半後に迫るこの時期を迎え、改めてこの建物の活用と景観の保全を要望いたします。

建築関係者をはじめ一般市民の方々からも鎌倉館の建物の存続については注目されており、本年3月25日には神奈川新聞に「貴重な神奈川県立近代美術館鎌倉館の扱い」という記事が大きく掲載されました。貴県におかれましても多々ご思料のことと推察いたします。

鎌倉館の保存活用に対する、私ども日本建築家協会の想いは前回提出させて頂いた別紙の要望書に記した通りです。神奈川県立近代美術館の建設は当時の内山知事をはじめ多くの方々の文化興隆への強い意志により実現しました。20世紀を代表する建築家ル・コルビュジェに師事し、国内外の近代建築史に大きな足跡を残した坂倉準三の設計による鎌倉館は、時の経過の中で今や一つの風景となり、鶴岡八幡宮と共に多くの市民に愛されています。モダニズムの代表的建築物と歴史的な景観のこのような組合せ、佇まいは、国内では類を見ないものであり、歴史と文化の重層性という観点からもたいへん重要なものと言えます。

解決すべき課題もありますが、鎌倉館は、現在の技術をもってすれば将来にわたり維持活用が十分に可能であり、それを行う価値のある建築資産です。坂倉の代表作であり国際的にも評価が高い鎌倉館の建物の活用、歴史と文化が調和した魅力的な景観の保全、これらについて、特段のご配慮をもって取り組まれますよう、ここに改めて要望いたします。  
今後の方向性を含め、なにとぞご回答いただけますよう、貴県にお願いする次第です。

なお、公益社団法人 日本建築家協会関東甲信越支部、同保存問題委員会、同神奈川地域会は、神奈川県立近代美術館鎌倉館の建物の活用と景観の保全について、出来る限りの協力をさせて頂く所存であることを申し添えます。

敬具

2013年10月24日

報道機関の皆様

公益社団法人 日本建築家協会 (JIA)  
関東甲信越支部支部長 上 浪 寛  
同保存問題委員会委員長 安達 文宏  
同神奈川地域会代表 青木 恵美子

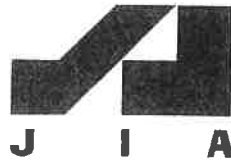
### **土地賃借契約期限が迫る《神奈川県立近代美術館鎌倉館》の 建物の活用とその景観の保全に向けた要望書の提出について**

公益社団法人 日本建築家協会 (JIA) 関東甲信越支部、同保存問題委員 及び 同神奈川地域会はこのたび連名で、平成22年12月に引き続き、国際的に評価が高い神奈川県立近代美術館鎌倉館の建物の活用と景観保全についての要望書を、神奈川県あて23日に提出しましたので、ここにご報告します。

神奈川県立近代美術館鎌倉館は、20世紀を代表する建築家ル・コルビュジェに師事し近代建築史に大きな足跡を残した坂倉準三の設計で、国内外の評価が大変高い建物です。その建物の土地の賃借契約期限が2年半後の2016年3月末に迫っておりますが、現時点でも保全の方策が示されておらず、その存続が危ぶまれる状況が続いています。この2年半後の期限を考慮すると、早急に神奈川県に、同館の活用と景観の保全を検討し方向性を提示いただくよう、再度お願いするべき時期であると判断し、職能団体の責務として要望書提出による意見表明を行ったものです。

なお、要望書に記載がありますように、公益社団法人 日本建築家協会 関東甲信越支部、同保存問題委員会、並びに 同 神奈川地域会は、本件につき、出来る限りの協力をさせていただき方針を提出先にお伝えしております。

**本要望書提出に関するお問い合わせ先**  
**(公社) 日本建築家協会・関東甲信越支部**  
〒150-0001 渋谷区神宮前2-3-18 JIA館  
TEL: 03-3408-8291  
FAX: 03-3408-8294



社団法人 日本建築家協会 (JIA)

関東甲信越支部 支部長 上浪 寛

同 保存問題委員会 委員長 和田 昇三

同 神奈川地域会 代表 森岡 茂夫

## 神奈川県立近代美術館鎌倉館存続の要望書

拝啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

貴県におかれましては、日頃より文化の継承に理解を示されていることに深く敬意を表します。又当協会の活動に格別のご理解を賜り、厚く感謝申し上げます。

ご高承のように、神奈川県立近代美術館鎌倉館は戦後まもない 1951 年、当時の内山岩太郎知事をはじめ多くの県民が、荒廃した日本に文化を築くことによる復興を志し、鶴岡八幡宮の協力を得て境内に建設された、日本では最初の、世界的に見ても 3 番目といわれている近代美術館で、日本の美術界に大きな役割を果たしてきました。当時気鋭の建築家によってコンペが行われた本館は、現代建築の巨匠ル・コルビュジェのもとで学んだ坂倉準三 (1901-1969) が入選して設計を行い、15 年後の 1966 年に増築された新館も同じく坂倉により設計されました。

展示室など主要部分を 2 階部分において中庭を囲む口の字型で構成した本館のピロティといわれる 1 階のテラスに佇みますと、池から立ち上がる沓石に載る柱や、天井に揺らめく反射した水面の光、1 階壁に使われている大谷石が目に入ってきます。渡り廊下から新館の展示室に導かれると、サッシュで遮られることのないサスペンデッドガラスの大きな開口部から池、本館、森がのぞまれ、外部の景観と一体となった展示空間を感じることができます。また外観は、本館の白い箱を持ち上げた明快な量塊的構成に対して、新館は暗褐色の耐候性高張力鋼の梁柱を積極的に表した真壁的構成で、近代主義的表現と日本的表現とのみごとな対比となっています。この姿から 50 年代、60 年代の先端を行くモダニズム建築の中に日本固有の建築要素の融合や自然環境との調和を試みた坂倉の設計理念が伝わってきます。

日本建築家協会では 25 年以上に亘り長く地域環境に貢献し、風雪に耐えて美しく維持され、社会に対して建築の意義を語りかけてきた建築物を表彰する「JIA25 年賞」を 2006 年この鎌倉館に贈り、近代建築の保存を提言する世界的な組織である DOCOMOMO Japan も「日本の 20 選」(1999 年に本館、2007 年新館追加認定) に選定いたしました。2004 年には鎌倉市が制定し鎌倉市民が選考する「景観づくり賞」がこの建物に関わる市民団体 (近美 100 年の会) に贈られ、市民からもこの建物が鎌倉にとって景観上大切な建物と評価をされている事がうかがえます。長い歴史を持ち日本文化を代表する鶴岡八幡宮と、国内はもとより世界的にも高い評価を得てきた現代の名建築が見事なまでに調和している環境は他に類を見ず、今や古都鎌倉にとって欠かすことができない風景になりました。

現在新館は建物の一部劣化により休館中となっておりますが、修繕措置が施されないまま放置されております。建築は使い続けることで生き続けます。今後この鎌倉館に十分なメンテナンスを施すなど、敷地返還期限とお聞きしている 2016 年を超えてもなお、この名建築が存続し続けることについての行政的配慮をお願いする次第です。

なお、社団法人日本建築家協会関東甲信越支部、同保存問題委員会、同神奈川地域会は、神奈川県立近代美術館鎌倉館本館、新館の存続について、出来る限りの協力をさせて頂く所存である事を申し添えます。

社団法人 日本建築家協会  
The Japan Institute of Architects

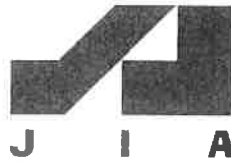
関東・甲信越支部

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 2-3-18 JIA 株  
Tel 03 3408 8291 Fax 03 3408 8294

敬具

神奈川県教育委員会教育長

藤井 良一 様



平成 22 年 12 月 22 日

社団法人 日本建築家協会 (J I A)

関東甲信越支部 支部長 上浪 寛

同 保存問題委員会 委員長 和田 昇三

同 神奈川地域会 代表 森岡 茂夫

## 神奈川県立近代美術館鎌倉館存続の要望書

拝啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

貴県におかれましては、日頃より文化の継承に理解を示されていることに深く敬意を表します。又当協会の活動に格別のご理解を賜り、厚く感謝申し上げます。

ご高承のように、神奈川県立近代美術館鎌倉館は戦後まもない 1951 年、当時の内山岩太郎知事をはじめ多くの県民が、荒廃した日本に文化を築くことによる復興を志し、鶴岡八幡宮の協力を得て境内に建設された、日本では最初の、世界的に見ても 3 番目といわれている近代美術館で、日本の美術界に大きな役割を果たしてきました。当時気鋭の建築家によってコンペが行われた本館は、現代建築の巨匠ル・コルビュジェのもとで学んだ坂倉準三（1901-1969）が入選して設計を行い、15 年後の 1966 年に増築された新館も同じく坂倉により設計されました。

展示室など主要部分を 2 階部分において中庭を囲む口の字型で構成した本館のピロティといわれる 1 階のテラスに佇みますと、池から立ち上がる沓石に載る柱や、天井に揺らめく反射した水面の光、1 階壁に使われている大谷石が目に入ってきます。渡り廊下から新館の展示室に導かれると、サッシュで遮られることのないサスペンデッドガラスの大きな開口部から池、本館、森がのぞまれ、外部の景観と一体となった展示空間を感じることができます。また外観は、本館の白い箱を持ち上げた明快な量塊的構成に対して、新館は暗褐色の耐候性高張力鋼の梁柱を積極的に表した真壁の構成で、近代主義的表現と日本的表現とのみごとな対比となっています。この姿から 50 年代、60 年代の先端を行くモダニズム建築の中に日本固有の建築要素の融合や自然環境との調和を試みた坂倉の設計理念が伝わってきます。

日本建築家協会では 25 年以上に亘り長く地域環境に貢献し、風雪に耐えて美しく維持され、社会に対して建築の意義を語りかけてきた建築物を表彰する「JIA25 年賞」を 2006 年この鎌倉館に贈り、近代建築の保存を提言する世界的な組織である DOCOMOMO Japan も「日本の 20 選」（1999 年に本館、2007 年新館追加認定）に選定いたしました。2004 年には鎌倉市が制定し鎌倉市民が選考する「景観づくり賞」がこの建物に関わる市民団体（近美 100 年の会）に贈られ、市民からもこの建物が鎌倉にとって景観上大切な建物と評価をされている事がうかがえます。長い歴史を持ち日本文化を代表する鶴岡八幡宮と、国内はもとより世界的にも高い評価を得てきた現代の名建築が見事なまでに調和している環境は他に類を見ず、今や古都鎌倉にとって欠かすことができない風景になりました。

現在新館は建物の一部劣化により休館中となっておりますが、修繕措置が施されないまま放置されております。建築は使い続けることで生き続けます。今後この鎌倉館に十分なメンテナンスを施すなど、敷地返還期限とお聞きしている 2016 年を超えてもなお、この名建築が存続し続けることについての行政的配慮をお願いする次第です。

なお、社団法人日本建築家協会関東甲信越支部、同保存問題委員会、同神奈川地域会は、神奈川県立近代美術館鎌倉館本館、新館の存続について、出来る限りの協力をさせて頂く所存である事を申し添えます。

社団法人 日本建築家協会  
The Japan Institute of Architects

関東・甲信越支部  
〒150-8001 東京都港区港南 1-15-104 号  
TEL 03-3408-6291 FAX 03-3408-6294

敬具